2026 年度九州沖縄地区水環境保全調査研究補助事業について

目 的： これまで水環境健全性評価調査として、幾つかの河川で実施してきた水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）による環境評価の活動を発展させ、支部内の共同研究の種とするべく九州沖縄地区全域を対象とした水環境保全などの活動に関する調査研究に対して補助を行う。水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）は、市民が主体となって川などの環境評価を行う取り組みであるが、この活動をさらに発展させ、社会的な信頼性や政策への影響力を高めるためには、「データの科学的裏付け、あるいは課題解決を生み出す技術開発」と「市民参加の持続可能性」の両面からの調査研究が鍵となる。本補助により，九州沖縄地区の水環境保全に関する研究と市民科学（シチズンサイエンス）の発展に寄与する。

公募対象： 応募対象は、原則として（公社）日本水環境学会における正会員（九州沖縄支部会員）資格を有する者とする。

募集内容： 以下に示した活動などに関する支援を行う。調査研究活動に伴う国内・海外出張費（旅費）および、研究用機材・消耗品の購入に要する経費（物品費）を補助する。

1. 指標の科学的妥当性の検証

市民による感覚的な評価（定性データ）と、専門家による精密測定（定量データ）の相関をより強固にする研究。

★理化学的分析との比較研究： 「みずしるべ」の各項目（水の透明度、におい、生き物など）と、BOD、COD、全窒素・全リンなどの化学的数値がどの程度一致するかを統計的に解析する。

★環境 DNA 技術の活用： 市民が見つけた生き物報告と、環境 DNA（水中に含まれる生物由来の DNA）分析結果を照らし合わせ、指標の精度を検証する。

2. 生態系サービスと「豊かさ」の可視化

単なる「汚れ」の指標から、人間にとっての「価値」へとつなげる研究。

★文化的サービスの評価： 水辺が住民の幸福度やメンタルヘルスに与える影響をアンケートや行動調査で測定し、指標に組み込む。

★経済価値の算出： 水辺が健やかになることで、周辺の地価や観光客数、あるいは治水コストの削減にどう寄与するかをモデル化する。

3. 市民科学としての質向上

活動を継続・拡大させるための仕組みに関する研究。

★データの信頼性担保： 参加者の習熟度によるデータのバラつきを抑えるための、AI による画像判定支援や、簡易的な検定システムの開発研究。

★インセンティブ設計の調査： 参加者が「またやりたい」と思える動機付け（ゲーミフィケーションや地域通貨との連動など）の行動経済学的な分析。

4. 政策・まちづくりへの実装プロセスの研究

調査結果をどう実社会に反映させるかという「出口」の研究。

★行政計画への反映スキーム： 市民データが河川整備計画や都市計画の意思決定に採用されるための法的・制度的なハードルの解明。

★気候変動適応策としての活用：温暖化による水温上昇や植生変化を「みずしるべ」で早期検知し、適応策に繋げるためのモニタリング手法の確立。

申請方法：

(1) 申請は所定の様式に従って行う（お問い合せください）。

(2) 応募時期は以下の通りとする。

2026 年 9 月 25 日（金）～2026 年 11 月 11 日（水）（メール申請可）

(3) 実施時期は以下の通りとする。

採択通知後以降～2027 年 3 月 31 日（水）

(4) 申請内容は，本補助の目的を十分に理解し，複数年にまたがる調査研究を提案する場合はその必要性を記載すること。

(5) 代表者としての年度毎の申請は，原則 1 件とする。

報告書 ： 支部研究発表会または支部のニューズレターで中間・最終報告を行う。

補助金額： 1 件あたり 5 万円程度を目処（補助内容により変動）

選考方法： 別途定める選考委員会で選考する。公募対象と内容に合致すれば、募集枠上限に達するまで補助を認める。

募集枠： 年間補助総額 10 万円、2～3 件を上限とする。

問い合わせ・書類提出先：

〒800-0394 福岡県京都郡苅田町新津 1-11
西日本工業大学工学部総合システム工学科
高見 徹（たかみ とおる）
e-mail: ttakami@nishitech.ac.jp